

住民のための の市政を！！

ごうつ民報

日本共産党江津市委員会
電話 52-2633
FAX 52-7244
NO. 2394
2020年3月29日



多田伸治市議

都市計画課長 市営住宅30団地400戸のうち、

3月議会

多田伸治市議の一般質問②

9日に行なわれた江津市議会3月定例会の一般質問で、日本共産党江津市議団の多田伸治市議が、「老朽化した市営住宅」を取り上げました。

床が落ち、隙間風が…

健康で文化的な住環境を求める

老朽化でも

市営住宅の修繕を

多田 公営住宅法は

国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を建設し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で貸付することにより、国民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与する」と定めているが、老朽化が進んだ市営住宅では守られていない。市としてどう認識しているのか。

嘉戸団地・浅利団地・敬川団地など、12団地131戸は耐用年限を超過しており、耐震性能に問題がある上に老朽化で修繕による維持管理では対応できない状態。公営住宅法の定める本来の機能を失い、若者定住や高齢者福祉として課題があると認識している。2009年度策定の『公営住宅等長寿命化計画』で、建て替え整備を定めているが、現状では進んでいない。

多田 住民からは「床が落ちそう」「隙間風がひどい」「建物にヒビ」など、健康で文化的な生活が提供されておらず、修繕・補修もされないと聞く。どう対応しているのか。

都市計画課長 『公営住宅等長寿命化計画』では、耐用年限を超過した住宅

は集約建て替えの対象としており、空き室となった時点で「政策空き家」とし、維持修繕は行わない。住民のいる部屋は、安全配慮として一定の修繕・補修をしており、毎年住民にアンケートを実施して、最低限だが修繕を行っている。

多田 修繕が及んでいないと感じるが、例として挙げたものは直してもらえるのか。

都市計画課長 日常の生

移転集約ではなく

住民の声を聞いての新築整備を

市営住宅の整備計画

住民への説明を

多田 老朽化した団地を集約して建て替えると言いが、移転集約では住民が住みなれた地域から切り離される上、過去には新たな団地で家賃が3〜4倍になったケースもあり、高齢の住民には非常に厳しい条件となる。嘉戸団地については、シビッククセンターゾーンへの移転計画が進みつつあるが、住民に説明されていない。計画の是非も含めて住民へ情報を提供し、今後

活に支障が生じる窓や隙間・床の傷みは、適宜修繕する。ただ、風呂・台所などの大きな修繕については、建て替え対象団地では我慢してもらっている。

市営住宅の管理は住宅供給公社へ委託されていますが、建物の維持は市の責任です。当然ながら修繕が必要な場合は、市が対応しなければなりません。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

元説明を行う。

住民や地域にとってプラスとなる整備を

多田 老朽化した市営住宅は、基本的には建て替えるほかに、住民には不慣れた土地への転居・家賃の増大などの不安がある。また、移転となれば、地域コミュニティは構成員を失い、地域振興に影響する。そうではなく、住みなれた地域に住み続けられるよう、現在の立地での建て替えを求める。現状は空き室も多く、住みながらの部分的な取り壊しと建て替えは可能。家賃を低く抑えた手頃な戸建てにすることで、地元業者への仕事もつくり、余る土地を新たな宅地とすれば、若い世代を呼び込める。住民・地域・市内経済にとってプラスとなる市営住宅整備を提案する。

都市計画課長 比較的利益性の高い土地での集約建て替えが基本方針で、『立地適正化計画』での東部・中部・西部・桜江の居住拠点区域内で検討する。建築については、地場産業振興や経済波及

効果の観点から、石州瓦・地場産木材の使用を検討し、用地単価の低い地域では、低層の木造住宅や戸建てによる地域住宅産業の小規模事業者への波及効果も考慮する。地域コミュニティの維持にも配慮したい。

多田 移転するのに配慮などできるのか。

都市計画課長 地元説明を行う中で、意見を聞いて対応する。ただ、市営住宅は公共施設であり、個人の希望だけで団地の整備は難しい。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

市には、住宅に困窮する低所得者へ、健康で文化的な生活が可能な、低家賃の住宅を提供する責任があります。住民の声をもち、その責任を果たすことが求められます。

悩み・困りごと
ご相談ください

森川よしひで
090-7379-1554
多田伸治
090-6014-2259

3月議会

森川よしひで市議の一般質問②

9日、江津市議会3月定例会で、日本共産党江津市議団の森川よしひで市議が 第6次江津市総合振興計画」を取り上げました。

江津に住んでよかったと実感する計画を

市民は宝」の市政を

森川 第6次江津市総合振興計画」は市政の最上位計画で、江津に住んでよかった」合併して本当によかった」と市民に思ってもらえる計画にする必要がある

ある。しかし、10年後の人口目標を2万人としているが、なにをどのようにするのか不明な点が多々あり、状況改善させる意欲が伝わらない内容となっている。これまでの『第5次計画』とどうちがうのか。
総務課長 基本目標や基本

方針に大きな変更はないが、施策を変更・追加して。従来の計画を 特色ある観光資源の活用」再生可能エネルギーの導入・活用」に変えた。また、災害に強いまちづくり」 災害防除事業の推進」 道路・橋梁の長寿命化」 生活困窮者への生活支援の推進」 結婚環境の整備」 多文化共生」を追加した。
森川 地域コミュニティ組織を行政から独立した組織

とし、住民が政策決定権を持つ政策会議を設置して、その承認なしには市長も市議会へ提案できないなど、住民自治で施策を検証する方法もあるのではないかと。
総務課長 江津市版総合戦略の重点プロジェクトは、数値目標を設定し、毎年施

策の進捗度合い、効果の確認など、評価・検証を行うし、外部委員による審議会に諮り、議会や市民へ公表する。昨年8月の総合戦略審議会の答申で指摘されたが、取り組みでは数値を追って目的や本質を見失うことがないよう留意したい。

トでの要望が多い順に進めるべきではないのか。
総務課長 市民アンケートは18才以上の住民が対象で、企業・事業所がはいっていない。しかし、今後の企業活動や企業誘致のために記載しているものもある。
森川 市民への意見公募の結果は。
総務課長 第6次江津市総合振興計画」には3人から応募があった。多い数ではないが、標準的な意見公募の手続きであり、必要かつ合理的なものと考え。 **森川** 市の最上位計画として、市民への説明会を行うべきではないか。
総務課長 そこまではする必要はないと判断して、現在に至っている。

週刊誌が、安倍首相が7年間で吐いた嘘」をすべて掲載した。デマカセとハッタリで塗り固めた史上最大の政権の真実」。

嘘の上塗り重ねてきた10項目が載っていた。2月28日、安倍首相が断で全国の小・中・高校の休校を要請した報道が。なんとこんな大事なことを手決めるんだ。いつも北朝鮮、北朝鮮」と言うが、自分こそ北朝鮮と同じやり方じゃないか。本当は北朝鮮が羨ましいんじゃないのか。しかも、要請の指し示されたみたいにな国のほとんどが過敏とも思

晴らしい方針だと思った。一方、安倍首相は新型コロナウイルスの感染が広がり、自分の手柄のほの東京オリンピックの開催が困難になりそうだと、突拍子もない理不尽なやり方に出る。まさにデマカセ。目論見は五輪を

も含め19人に12億1320万円を支出。そのうち8億3270万円を二階氏が貰った。17年も19億1730万円のうち13億8290万円を貰っている。自民党総裁は党規約で2期6年と決まっているのに、幹事長の二階氏が延長に次ぐ延長。そのご褒美なんだろう。公文書改ざんをさせられ、良心の呵責から帰らぬ人となった近畿財務局職員の手記に対し、安倍首相は 改ざんは二度とあってはならない」とまるで人ごとみたいな台詞。こんな 悪夢」は子孫のために早く終わらせな

急がない項目には 情報通信基盤の整備・活用」 市街地の計画的な整備」 住環境の整備」 新エネルギーの導入・活用」があるが計画では重視されている。市民アンケートはどう活かされているのか。
総務課長 市民アンケートの対象には企業・事業所は入っていない。そのため、調査結果の方向性とは異なるが、企業誘致・企業活動には必須となる情報通信基盤の整備を重要な施策として基本計画に定めている。

答弁からは 市民の要望を第一として扱う」 市民への説明責任を果たす」という意識が感じられません。江津市の最上位計画が、そんな意識のもとで進められて、市民が幸せになれるのでしょうか。

安倍首相こそが「悪夢」

大田市教育委員会は感染予防として、保護者が登校させたくない」と連絡すれば、欠席扱いにはしないし、市内や近隣市町で感染があった場合、臨時休校の対応をとるといふ。子どもや家庭のことを考慮した素

万々歳でやって、安倍ようやった」と褒められたところで衆院解散。それに勝つたら、二階俊博幹事長の音頭でさらに首相を続けて憲法改正」なんだろう。2018年、自民党が政

策活動費との名目で非議員

策の進捗度合い、効果の確認など、評価・検証を行うし、外部委員による審議会に諮り、議会や市民へ公表する。昨年8月の総合戦略審議会の答申で指摘されたが、取り組みでは数値を追って目的や本質を見失うことがないよう留意したい。

トでの要望が多い順に進めるべきではないのか。
総務課長 市民アンケートは18才以上の住民が対象で、企業・事業所がはいっていない。しかし、今後の企業活動や企業誘致のために記載しているものもある。
森川 市民への意見公募の結果は。
総務課長 第6次江津市総合振興計画」には3人から応募があった。多い数ではないが、標準的な意見公募の手続きであり、必要かつ合理的なものと考え。 **森川** 市の最上位計画として、市民への説明会を行うべきではないか。
総務課長 そこまではする必要はないと判断して、現在に至っている。

森川 市民アンケート

23日	西谷フミ子	88)	金田町
22日	風早孝博	83)	和木町
20日	原田清志	64)	桜江町川越

お悔やみ申しあげます
敬称略